

基礎生物学専攻

受入れ可能学生数: 若干名

授業科目	単位	授業科目の内容	担当教員	開講学期	曜日・時限	教室
基礎生物学概論Ⅰ	2	基礎生物学専攻による全教員により基礎生物学研究所で行われている最新の研究成果について概説する。	木下 典行 小峰由里子	前期	火曜 10:00- 12:00	明大寺地区: 基礎生物学研究所 1階 第1セミナー室 山手地区: 山手3号館9階 セミナー室B
基礎生物学概論Ⅱ	2			後期		
細胞生物学	1	細胞生物学は、ロバート・フックによる自作の顕微鏡を用いた細胞の発見に端を発し、その後の顕微鏡の発達に伴い劇的な進展を遂げてきた。本講義では、顕微鏡観察技術の進歩の歴史や最先端の可視化技術とその原理の概説から始め、その技術を用いて明らかにされてきた真核生物を構成する細胞の構造や振る舞い、遺伝子発現の仕組み、発生などのより高次の生命現象との関わりなどについて、以下の5つのトピックスに分け、動物、植物、微生物の研究により得られた知見を横断的に紹介しつつ講述する。 1. 細胞生物学を支える観察手法 2. 細胞の構造と細胞内物質輸送 3. 遺伝子の発現制御 4. 細胞周期制御 5. 細胞現象の可視化と定量化	上田 貴志 青木 一洋 中山 潤一 野中 茂紀 椎名 伸之 宮成 悠介 坪内 知美 真野 昌二	前期	未定	未定
発生生物学	1	生物は受精卵というひとつの細胞が分裂を続け、複雑かつ精密な調節を受けつつ分化し、形態形成を経ることにより生体へと発生する。本授業では、動物および植物などの多細胞生物の発生初期におこる体軸形成、細胞分化、原腸形成運動などの形態形成運動の制御機構、発生を駆動・維持する代謝調節機構、進化によって生じてきた生物の普遍性と多様性などについて講義する。これらを通じて遺伝情報から高次生命現象に至る過程の総合的な理解を図る。	藤森 俊彦 上野 直人 高田 慎治 児玉 隆治 木下 典行 川出 健介 高橋 弘樹	後期	未定	未定

【備考】

※開講日程，教室等詳細は要問い合わせ

□問い合わせ先

岡崎統合事務センター・国際研究協力課大学院係 TEL:0564-55-7139, MAIL:r7139@orion.ac.jp